# [ぷれいす東京スタッフ・研究班による発表]第40回日本エイズ学会学術集会・総会

| 月日 | 時間 | 番号 | プログラム | 発表内容 | 発表者・演者 | 座長 | 共著者 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11/20(金) | 15:10-16:10 | 第5会場 | 第 16回 世界エイズデイ メモリアルサービス | ～生命(いのち)をつなぐ～ | 有志 | | | |
| 11/21(土) | 10:00-11:00 | 第5会場 | サテライトシンポジウム2 | HIV感染予防・薬物使用・スティグマ<br>～日韓ピアの経験から | 新田慎一郎<br>ナミプ<br>タリ | 生島 嗣<br>徐 淑子 | | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存<br>研究部/ ぷれいす東京/ ゆうリンクリニック |
| 11/20(金) | 8:30-10:00 | シンポジウム 1 | 身体障害・自立支援医療の認定基準につい | HIV 陽性判明後、10 年半にわたり治療開始の制度から排除された当事者の経験 | 生島 嗣<br>HIV陽性者<br>有志 | | | ぷれいす東京 |
| 11/21(土) | 9:20-10:10 | 口演8<br>(社会・S)<br>O08-1 | 陽性者支援 | HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会議」の継続的展開 —歴史・地域・世代をつなぐネットワークへ— | 大島 岳1,2) | | 加藤力也2),牧原信也2)、生島 嗣2) | (1)明治大学情報コミュニケーション学部<br>(2)ぷれいす東京 |
| 11/21(土) | 9:20-10:10 | 口演8<br>(社会・S)<br>O08-2 | 陽性者支援 | 「YOUTH ミーティング」実施報告 | 宮城淳史1) | | 丹羽賢克1)、瀬戸伸彦1)、加藤力也1)、<br>大島 岳1,2)、牧原信也1)、<br>生島 嗣1) | (1)ぷれいす東京<br>(2)明治大学 |
| 11/21(土) | 14:40-15:40 | 口演9<br>(社会・S)<br>O9-6 | ソーシャルワーク | 商業文化空間における映像上映を通じたHIV・薬物のヘルスプロモーション—世界エイズデーの上映会・トーク | 大島 岳1,2) | | 生島 嗣2) | (1)明治大学情報コミュニケーション学部<br>(2)ぷれいす東京 |
| 11/21(土) | 17:30-18:20 | 口演15<br>(社会・S)<br>O15-1 | 薬物使用・疫学 | 薬物使用・HIV 支援における当事者参画型ワークショップの開催 | 新田慎一郎1,2,3) | | 村崎美和4)、山口正純5)、曽根隆純2)、福正大輔2)、<br>大島 岳6)、岡本 学7)、西川篤郎2),生島 嗣2) | 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依<br>存研究部<br>2) ぷれいす東京<br>3) 医療法人社団ゆうりん ゆうりんクリニック<br>4) 学校法人北里研究所北里大学北里研究所病院<br>5) 一般財団法人博慈会 長寿リハビリセンター病院<br>6) 明治大学<br>7) 大阪医療センター |
| 11/21(土) | 17:30-18:20 | 口演15<br>(社会・S)<br>O15-2 | 薬物使用・疫学 | 薬物使用経験者が地域に求めるハームリダクション的支援サービス～当事者参加型ブレーンストーミングによる質的分析 | 山口正純1) | | 新田慎一郎2,3,4),村崎美和5),曽根隆純3)、生島嗣3) | 1) 一般財団法人博慈会 長寿リハビリセンター病院内科<br>2) 国立精神・神経医療研究センター<br>3) ぷれいす東京<br>4) ゆうりんクリニック<br>5) 北里研究所北里大学北里研究所病院 |
| 11/21(土) | 17:30-18:30 | 口演16<br>(臨床・C)<br>O16-5 | PrEP とジェンダー＋α | 婦人科でのPrEP 診療の実践：女性ユーザーの動向と課題 | 池田詩子1) | | 池田 博2)、市原浩司3)、砂押研一4)、<br>生島 嗣5)、三輪岳史5)、<br>高野 操6)、水島大輔6) | 1) 宮の森レディースクリニック<br>2) 池田内科<br>3) 札幌中央病院 泌尿器科<br>4) ていね駅前泌尿器科<br>5) 人ぷれいす東京<br>6) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター |
| 11/22(日) | 14:30-15:20 | 口演29<br>(社会・S)<br>O29-2 | 人権・倫理・U=U | HIV陽性者に対する留置処遇の憲法的統制—特異被留置者指定と菊池事件の示す構造— | 中野栄二1,2,3) | | | 1) 中央大学<br>2) ぷれいす東京<br>3)ASK(ASK 認定依存症予防教育アドバイザー) |
| 11/22(日) | 14:30-15:20 | 口演29<br>(社会・S)<br>O29-3 | 人権・倫理・U=U | 薬物を使用するHIV 陽性者への医療提供の連続性に関する実態調査—逮捕・勾留中・出所後を通じた切れ目のない支援に着目して— | 生島 嗣1) | | 、赤木寛隆2)、大木幸子3)、岡本 学4)、<br>片山宗紀5)、村崎 美和6)、<br>本間隆之7)、西川篤郎1) | 1) NPO 法人ぷれいす東京<br>2) 法務省関東地方更生保護委員会<br>3) 杏林大学保健学部看護学科<br>4) 大阪医療センター<br>5) 北里大学医学部精神科学教室<br>6) 北里大学北里研究所病院<br>7) 株式会社マイ. ビジネスサービス |
| 11/22(日) | 10:30-12:00 | ポスター<br>(社会・S)<br>P-S04-1 | ソーシャルワーク / 薬害 | 米国ハームリダクション実践にみる支援の哲学 | 新田慎一郎1,2,3) | | 高野 歩1)<br>ATICI Selim Gokce4,5) | 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部<br>2) ぷれいす東京<br>3) 医療法人社団ゆうりん ゆうりんクリニック<br>4) プリンストン大学<br>5) 東京大学 東京カレッジ |
| 11/22(日) | 8:30-10:00 | ポスター<br>(臨床・C)<br>P-C11-4 | PEP・PrEP・STI・STD | 札幌におけるPrEP 開始後の現状と直面している課題について | 池田 博1) | | 池田詩子2),市原浩司3),砂押研一4)、<br>生島嗣5),三輪岳史5),高野操6),水島大輔6) | 1) 池田内科<br>2) 宮の森レディースクリニック<br>3) 札幌中央病院<br>4) ていね駅前泌尿器科<br>5) ぷれいす東京<br>6) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター |